

付属柏高校部活動の活躍(運動部編)

2017年度 更なる活躍に期待!

今年で創立33年目となる本校は、流通経済大学の付属高校としてこれまで築きあげた伝統と校風を大切にしながら、更なる発展を目指して幅広い教育活動を展開しています。中でも、教育方針のひとつでもある「スポーツや文化活動の振興」においては、課外活動分野での高大一貫教育を目標に、1985年の創立時から今日までその強化に努めてまいりました。

特に運動部は、開校直後にラグビー部・柔道部・剣道部を中心に強化策を打ち出し、開校4年目の1988年に男子のみの普通科Ⅱ類コース(1クラス)を新設して野球部・陸上競技部(現:駅伝部)・バスケットボール部・サッカー部を強化部に加え、資質に優れた部員の確保に乗り出しました。この強化策が実り、1992年にラグビー部が全国大会に初出場してベスト8の偉業を達成。1997年には野球部が夏の高校選手権県予選で準優勝、1998年にはインターハイ柔道個人種目で優勝・世界ジュニア選手権で金メダルに輝くなど活躍しました。

その後、Ⅱ類コースを2クラスにして更なる拡充に努める中、2002年にはケニアからの留学生2人がインターハイ陸上競技トラック種目で優勝(2年連続)。一方、女子は2005年に新体操部の2年生が日本代表選手として世界選手権に出場。2007年にも、フェアリージャパン北京五輪候補メンバーに選ばれていた同部の後輩が日本代表選手として同大会に出場するなど、女子も活躍するようになりました。

大きな躍進を遂げたのはサッカー部で、2003年にインターハイに初

出場した後、2007年から2008年にかけて高円宮杯・全国高校選手権・インターハイと立て続けに全国制覇、見事「全国大会三冠」を達成し、スポーツ界の注目を集めました。サッカー部は、その後も2013年に高円宮杯プレミアリーグで全国制覇、2015年には高校選手権で全国3位、昨年も広島県で行われた「2016情熱疾走 中国総体=インターハイ」で準優勝に輝いています。駅伝部も一昨年(2015年)は関東大会で初優勝して全国高校駅伝初出場を達成するなど、ここ数年で急成長しています。他にもいくつか期待できる部活がありますが、特に、全国大会連続出場記録を更新中(22年連続)のラグビー部には悲願の全国制覇を、野球部には初の甲子園出場を成し遂げることを切望してやみません。また、新たに立ち上げた女子サッカー部とチアリーディング部にも頑張ってもらいたいと思っています。

このようなスポーツの振興とその強化は、日通学園・流通経済大学からの温かいご理解とご支援を受けながら高大連携のもとで行われています。本校の生徒たちが流通経済大学に進学し、更なる成長を遂げて全国大会などで活躍するのが最も理想的な展開と言えるでしょう。昨夏、流通経済大学との一貫教育によって完成度を高めた本校の卒業生2人が、7人制ラグビーと柔道でリオ・オリンピックに出場して活躍しました。2020年の東京オリンピックには付属の卒業生が何人出場し、どんな活躍を見せてくれるのか楽しみです。

今後も高大連携の一貫教育のもとで「夢の実現」を目指そうとする生徒たちを学園関係者と一体となって支援していく所存です。

皆様の力強い応援、よろしくお願いいたします。 校長 林 静男



全国大会22年連続24回出場したラグビー部



全国大会2015年に初出場を果たした駅伝部



2016年全国高校総体(インターハイ)準優勝のサッカー部(千葉県私学振興大会)の特別表彰状を授けられる様子